

## 大通りと白沢宿の 景観形成は

**問**

本市は、魅力ある市街地や豊かな自然、歴史ある街並みなど、多くの地域資源や個性ある景観を有しているが、更なる持続可能な都市を目指すには、都市ブランドイメージを高めることが重要であり、都市の景観は、その都市を印象付ける重要な要素の一つである。

そこで次の2点を伺う。

①JR宇都宮駅から西に伸びる「大通り」は、本市の玄関口であり、顔であるが、今後の景観形成への取り組みは。  
②白沢宿は、奥州街道の宿場町の面影を有しているが、今後の景観形成の進め方は。

**答**

①昨年からは、地元商店街や、自治会の代表者等で構成する「大通り景観づくり推進協議会」を設立し、建築物の色彩やデザイン、

緑化などのルールを定める「景観形成重点地区」の指定に向けて取り組んでいる。

今年度は、池上町の景観形成重点地区指定を目指すとともに、景観アドバイザー制度や助成制度を活用し、魅力と風格ある景観形成を進めていく。

②白沢宿の面影を残す活動を行っている「奥州街道白澤宿の会」や、地元自治会の代表者等とともに、「白沢地区景観づくり検討会」を立ち上げた。

今後は、ワークショップや勉強会を重ねながら「景観形成重点地区」の指定を目指す。



▲宿場町の面影を残す白沢宿

## 「食品ロス」はもったいない

**問**

食品の製造、流通の段階で発生する「食品ロス」の現状を見ると、消費期限や賞味期限が切れていないのに売れ残ったもの、ちよつと容器が破損しているもの、新商品が出てしまった既存商品など、安易に廃棄処分されている。

そこで、「食品ロス」発生の実態の把握、食品メーカーや小売店、飲食店等に対する指導、協力量議、また、今後の取り組みの考え方について伺う。

**答** 製造、流通の過程において、本来食べられるはずの食品が、「消費期限や賞味期限が近づいた」などの理由により、「食品ロス」として大量に廃棄されており、大変「もったいない」現状であると受け止めている。

現在、本市においては、「宇都宮市廃棄物の処理及び清掃に関する条例」に基づき、大規模事業所に対し、「減量等計画書」の提出や、廃棄物管理責任者の選任を義務付けており、提出された計画書を基に、個別訪問指導を実施するとともに、選任された管理責任者を対象とした研修会を開催するなど、廃棄物の「減量化・資源化」と「適正処理の促進」を図っている。

今後とも、これらの取り組みを進めるとともに、「なるべく調理くずを出さない」、「洗剤を使用する」など、環境に優しい取り組みを進める飲食店を「エコレストラン」として認定し、広く市民に推奨する本市独自の制度の普及・拡大を図っていく。



## 「宇都宮プライド大使」を 任命しては

**問**

本市では、都市ブランド戦略の環境としてブランドメッセージの「住めば愉快だ宇都宮」や「宮力フェ」の開設など積極的なイメージ戦略や広報活動を展開している。

一方で、本市出身者には、様々な分野で活躍する著名人が多数いることから、このような宇都宮の誇りとも言える方々を「宇都宮プライド大使」として任命し、本市の魅力を国内外に発信してもらうとともに、その方々の活動をバックアップしてはどうかと考えるが見解を伺う。

**答**

様々な分野で活躍する本市出身者の方々を「宇都宮プライド大使」として委嘱し、本市の魅力を国内外に発信してもらうことは、より広域的なPR効果が見込めると認識して

おり、「宇都宮ブランド戦略指針」でも、認知度アップに向けた取り組みとして「プロモーション大使」の任命を位置づけている。

現在、宇都宮市出身の芸能人や本市に拠点を置くプロスポーツチームなど、本市にゆかりの著名人の調査や制度のあり方などの研究を進めており、今年度の「宇都宮ブランド推進協議会」で意見をもたないながら、委嘱に向けた人選や活動内容、バックアップ方法などを具体的に検討していく。



▲愉快写真展のフラッグが飾られたオリオン通り